

第5分科会 東濃地区 恵那市 「教職員の専門性に関する課題」

質問

本校には専門教科を持たない教員もいる。どのように得意教科を意識づけられているのだろう。(東濃地区 小学校)

働き方改革をすすめる中での研修の充実を、短時間で効率的に行う方法があれば、今後も教えていただきたいです。また、研修にやらされ感のある教職員のやる気を高めるための有効な方法があれば、教えてください。(岐阜地区 小学校)

全職員が意欲的にICTを活用する楽しい取り組みがあれば教えてください。(飛騨地区 小学校)

職員構成や職員の協働を踏まえ、ICT機器を効果的活用した深い学びや専門性を高める研修を行う必要性を強く感じた。(西濃地区 中学校)

小規模校での校内研修は難しいですね。遠隔を活用したり工夫してみえますが、効果についてどのようにとらえてみえますか。(岐阜地区 小学校)

小学校における専門性の重要度の向上をどう図っていくと良いか(岐阜地区 小学校)

取り組みを勤務時間内におさめるという内容がありましたが、様々な研修や活動等は勤務時間内に計画、実践されているのでしょうか。(岐阜地区 中学校)

若手の良さの引き出し方、いろいろ教えていただきたいです。北方も、若手が本当に多くなかなか育てることが難しいです。(岐阜地区 小学校)

資質向上のための研修と働き方改革の相反する事項を、どのように調整しているか。(美濃地区 小学校)

研修を行う時間をどう生み出しているか。
若手が主体的に研修に取り組むことができるようにするための手立てはどんなものか。(岐阜地区 中学校)

研修や教科部会などは、時間外に行っているのでしょうか。(西濃地区 小学校)

学校間の連携は、労力対効果はどうなのでしょう？マネジメントが大変かと思いますが。(岐阜地区 小学校)

外部講師による若手教員への指導とありましたが、どのような方を外部講師として活用していますか？地元の塾講師といった方でしょうか？また、その報酬はどのようになっていますか？(飛騨地区 小学校)

遠隔授業は、どのくらいの頻度で行っているのでしょうか。また、授業を行う際、児童生徒の実態把握や評価をどのように行っているのでしょうか。(東濃地区 中学校)

ICT活用について課題となっていることを教えてください。(東濃地区 中学校)

「働き方改革」が求められる中、市内中学校5校での「月1回リモート教科部会」を勤務時間内で実施することは、価値があると思いますが、かなり工夫が必要であると思います。

週時程、日課等の工夫など、どうされていますか？

また、市教研(市内の研究授業)との関連は、どうなっているのでしょうか？(東濃地区 中学校)

「ICTを活用した学校間の連携」について、新たな案が出ているようならば教えてください。(東濃地区 中学校)

(1)②に外部講師とありますが、継続的な指導が受けられる外部講師とはどのような立場の方でしょうか。講師の選定も教頭が担当されていたのでしょうか。(東濃地区 小学校)

意見・感想

来年度発表があたっているので、大変興味深く、参考になった。来年度の発表に生かしていきたい。(西濃地区 小学校)

本提言をさせていただきましたが、他地区の提言と重なる部分が多く、学ばせていただくことが多くありました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

本町も単学級の小学校が複数存在する。同じ中学校に入学する小学校も複数ある。環境が大きく変わる中1への不安感等を軽減するためにも、ICTを活用した交流は有効であると感じた。(西濃地区 小学校)

本町でも学校規模が小さくなり、若手職員が多くなっているため、ICTの活用による他校とのリモート教科部会や合同研修ができないか考えていきたい。(西濃地区 中学校)

本県市においても、小規模の学校が多くある。そんな中であって学校間で連携を取り合い互いの教育技術を交流することで指導力を伸ばしていくところが素晴らしいと感じた。それぞれ、学校の予定があるので各学校が年間計画を作成する段階から、このことも含めた計画づくりをしていく必要があると感じた。(岐阜地区 小学校)

本市も単学級の学校が多い。現在もその学校間で連携した取組は行われてはいるが、さらにどんなことができるか、質の高い教育活動にするためにはどんな活動が考えられるか、引き続き考えていきたいと感じ、参考になった。(岐阜地区 小学校)

本市の実践であるが、本実践の発表に向けて、教頭会に折に度々交流してきたことは大きな意味があった。本実践の発表はこれで終わり、区切りとなるが、教頭会の折にこういった交流は続けていきたい。(東濃地区 中学校)

本市と違う状況の中、ICTを活用して授業参観等を行いながら資質向上を図る取組が有効だと感じました。また、若手教員のよさを生かすことで学校の活性化と、職員の成長を両立させる取組にも共感できました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

本校も同様の学校課題があり、市教科部会と連携した教科部会の充実や、学級経営力、生徒指導力の向上に向けた取組等、具体的に提案され、とても参考になりました。今後取り入れていきたいと思いました。(東濃地区 小学校)

本校も小規模校で、児童生徒の交流は行っているが、指導を高めるための教員同士の交流は行っていなかった。こうした面でもICTを活用できていくとよいと参考になった。(岐阜地区 小学校)

本校も若い教員の割合が増えている。かなり若くして学年主任等の役割を担い、苦労している様子もある。若手を育てるために何をすべきが大変勉強になった。(東濃地区 中学校)

本校も一人教科の教員が複数おり、校内で本当は学び合いたい(教科部会)のに、その機会がもてないという声を聞く。市教委の声かけや管理職等のついで、近隣の先生方の授業を参観させていただくこともある。そのような実態の中、恵那市が取り組んでいる「リモート教科部会」や「遠隔授業」には、大変興味をもった。ぜひ、今後の参考にしていきたい。(東濃地区 中学校)

本校は全校生徒35名の小規模校です。職員数も少なく、手本となるベテラン職員やミドルリーダーも手薄で、若手職員の育成は急務です。OJTの活用もなかなか難しい環境において、ICTを活用した実践は大変参考になりました。ICTを活用することによって、若手職員も教えてもらうだけでなく、自分も活躍できるWINWINなところがよいですね。実践できることからやってみようと思いました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

本校は若手の職員が少ない、教職員の人数が少なく教科部会が成立しないといった実態のため、他校の職員とのリモートでの教科部会や研修などを早速実施していきたい。(美濃地区 小学校)

本校は、若手と中堅、ベテランのバランスもよく、同世代の職員も複数みえます。しかし、校内で学び合う環境が整っている分、他校の先生方との交流は少ないと感じました。とくに、3年目までの職員は、コロナ禍で様々な研修が縮小されたり、参集型ではなくなったために、同世代での交流が極端に減少していると思います。他校とオンラインでつないで研修が行えるように教頭がパイプ役となっている恵那市の取組を拝聴して、本校でも中学校区の同世代の先生方と交流できる場をつくってみたいと思いました。大変お忙しい中、発表をしていただき、誠にありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

本校にも若手はいます。日常的に、チームで、負担を感じないように、心掛けていきたいと思えます。(美濃地区 小学校)

本校でも特別支援教育は必須の課題と考えています。時間を見出し、指導力の継承ができる体制を作りたいと思えます。(西濃地区 小学校)

本校でも、教科によっては経験年数の浅い先生での構成になる年もあります。教科の指導力向上という点で難しいと感じています。リモート等を使って近隣校で交流する取り組みは、若手教員にとってよい機会になると感じました。(可茂地区 中学校)

忙しい中で恵那市の良さを紹介していただき、ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

日常の授業参観や、時間を有向に使った研修など、非常に参考になりました。また、地域や学校の規模や実情に応じた校内や学校間での研修に、若手教員等が意欲的に参加していることが、すばらしいと思えました。研修した教職員が、指導力を向上できた実感できる質の高い研修内容であることが、発表から伝わりました。参考にさせていただきます。(岐阜地区 小学校)

特に若手職員の資質向上について、参考になりました。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

同じ教科の他校の教員とつながっての学び合いがすてきだと思えました。オンラインでつながるだけなら若手だけでもできますが、より有効な会とするために、主幹教諭の先生や教頭先生が学校同士をつないで会のセッティングや調整、さらには指導をされている点、勉強になりました。若手だけでなく、私自身もOJTで学ばなければならないと感じました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

働き方改革を進める上でも、外部講師の活用の利点を改めて感じました。外部講師による研修をうまく取り入れ、教員の資質向上を図る研修を今後、取り入れたいと思えます。(岐阜地区 小学校)

働き方改革はこの数年、様々な手段や工夫に取り組んできましたが、大きな改善にはつながっていないと感じる部分もあります。他校と連携しながら今後も課題をして取り組んでいきたいです。(東濃地区 中学校)

中学校区を単位にして、組織的に若手を育てていく仕組み作りが、とても参考になりました。(美濃地区 小学校)

地域の特性、ICTの活用による学校間連携など、特に小規模校やへき地教育に対応して工夫ある教育実践が参考になりました。(岐阜地区 小学校)

地域の教員の実情をもとに、様々な方法で指導力の向上を図る取組がなされていることが分かりました。中津川市も小学校では単学級、中学校では同一教科教員1名の小規模校が大半です。教頭がコーディネートするなどして、組織的に指導力向上を図る取組を推進する必要があると感じました。(東濃地区 小学校)

地域の強み、学校の強みを明らかにして、全体的に前向きなトーンで教職員の資質向上が図られている。(美濃地区 小学校)

担任として学級経営の力や、生徒指導力、特別支援教育への理解促進を伸ばしていくことはとても大切だと再確認しました。事例をあげて対応の理由を説明することは、経験の浅い教員にとってとても有効だとも思います。特別支援教育も一人一人の教育的ニーズへの対応力をつけることにつながり、特別支援学級だけでなく通常学級に在籍している児童生徒への支援につながるので、大切にしていきたいと思えました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

単学級構成の学校が多い状況の中で、ICTを駆使しながら、リモート教科部会や授業参観、遠隔による合同授業に取り組むなど、実情に対応し進められているところが素晴らしいです。(岐阜地区 中学校)

単学級が多く若手が多いという地域の特徴を上手く活かした取り組みがなされていた。若手を元気にして学校を活性化するという実践に共感する点が多かった。地域的に専門性を高めるためには、ICTの活用が欠かせない。それを調整し、コーディネートされる教頭としての動きから多くを学びました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

単学級が多い郡市ならではの取り組みがなされており素晴らしいと感じました。遠隔授業の今後の可能性を強く感じます。(岐阜地区 小学校)

単学級、若手職員が多いことへの対策として、市内の教員がリモートを活用して教科部会等の研修を行なっていることが画期的であった。恵那市全体で教員の資質向上を目指す取り組みが大変参考になりました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

多くの先輩教師から学んだ教科指導のノウハウ、学級経営のノウハウ、そういうものを次世代に引き継ごうとしても、近年の社会情勢の変化や勤務時間内の業務の多さ、コロナ禍における他校との交流(市教研)の減少などから、不十分であると感じることが多々あった。また、年齢層のアンバランスから「同僚との交流、共通理解の場」が成立しなくなっていると思います。若年層が失敗を繰り返しながらも果敢に挑戦し、成果を積み上げていくことを見守るだけの周囲の寛容さもなくなっているのではないかと感じる。若年層は早々に燃え尽き、疲れ果ててしまうのではないかと思う。(東濃地区 小学校)

他地区の現状や取組が分かり、参考になりました。(西濃地区 中学校)

他校の生徒とICTでつなげながら学習している姿が印象的でした。学校外の仲間とつながるという緊張感やわくわく感が、生徒のいい刺激になると思います。(岐阜地区 中学校)

組織の活性化も教職員の資質向上も教頭の手腕にかかるところがあると感じ、責務の大きさをあらためて感じました。(東濃地区 中学校)

全体の3分の1を若手職員が占めている実態に驚きましたが、若手の強みを生かした取組をされていて参考にしていきたいです。特に、ICTの活用を参考にしていきたいです。(岐阜地区 小学校)

専門性を高める必要性は日々感じます。専門性無くして、生徒指導もできません。働き方改革の中で、どう時間を使って研修していくかも課題です。他校や外部と関わることの大切さを感じました。(岐阜地区 小学校)

生徒指導力向上にかかわって、勤務校でもできる限りベテラン職員が生徒に対して指導支援する場面に若手職員を同席させるなど、実際にその場においてみることによって学ぶ機会を設けています。また、リモート教科部会については、大変興味深いものがありました。学校の規模が本校も小さいことから、他校の教科担任と学びあえる機会は大変すばらしいと考えます。(東濃地区 中学校)

生徒作文を用いた学級活動の実践はどの先生にも学ぶべき取り組みだと感じます。学級経営力、話し合い活動の向上にもとても役立つ実践でした。ICT環境の整備、クラウド型授業支援アプリなどもっと聞いてみたいと思う参考となる実践が多くありました。(可茂地区 中学校)

生徒の問題行動が多様化する中で、生徒指導力の向上が必要だと改めて実感しました。(岐阜地区 中学校)

職員構成が両極化しており、一人で仕事を抱え込む先生がいる学校が多い市です。市教委のバックアップがあるため、校区を超えた取組ができるようになっていきます。他分科会の取組を視聴させていただき、教頭研修会では、共通の研修を行うことで、学校経営につなげていけるような研修会の持ち方を検討したいと感じました。(東濃地区 中学校)

職員一人一人の持ち味が生かせるよう、教頭が核となって先生方を繋いでいることがわかった。たいへん丁寧な取組で、本校の若手教員への指導にも生かしていきたいと思った。(岐阜地区 小学校)

職員の資質能力を高めるためには、どうしても研修などは、本人に任せきりになってしまっているところがあるので、学ぶ場をコーディネートするなど、効果的な研修の位置づけが必要であると改めて感じた。(岐阜地区 小学校)

常日頃からコミュニケーションを取る大切さ、いつでも悩みなどを話すことができる環境づくりが大切だと感じました。(東濃地区 小学校)

小規模校同士の連携の素晴らしさを感じた。若手教員が力を付け、力を発揮できるような取組をししていくことは、同じような年齢構成の本校にも当てはまることだと思った。職員の取組を教頭が、どのような場で価値づけていくとよいかを学ぶこともできた。「自校の強みは何かを教頭が語れること。」を、改めて考える機会となった。(岐阜地区 小学校)

小規模校をつなぐ遠隔の合同会議やリモート教科部会は、小規模校にとっては非常に有効であるし、教員の移動時間等を考えるとこれからの時代はこれが主体になっていくと感じた。また ICT 環境が充実していると感じた。(東濃地区 小学校)

小規模校において ICT を活用し、若手教員の育成や児童生徒の交流を積極的に行なっている様子を知り、参考にしたいと思いました。(美濃地区 小学校)

小規模校ならではの課題を ICT の活用することで強みに変えているところが素晴らしく、大変参考になりました。ありがとうございました。(西濃地区 中学校)

小規模校で若手教員をいかに育てるかの参考になりました。教科を一人で指導し、単学級のため、単位時間の指導は1回しかできません。指導力を高めるためには、若手職員が自分から学ぶと共に、管理職は学べる環境を提供することが必要です。教頭が橋渡し役となり、他校や外部講師とのかかわりが持てるようにしていくことが大切であると思いました。(美濃地区 中学校)

小規模校での若手教員の指導力育成は、特に教科指導力の面で難しさがあると感じていたが、学校間連携と ICT の活用で豊かな学びに繋がることを学ぶことができた。(東濃地区 小学校)

小規模校が多い中で、その課題を克服していかにして若手を育てていくか。ICTを効果的に活用して生徒の授業支援や、若手の指導力向上を行なっている点がとても参考になりました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

小規模校が多い地域の ICT での交流は、これからますます必要だと思う。環境の整備の仕方は参考になった。(飛騨地区 小学校)

小規模校が多い現状は本校にもつながるところがありました。本校でも同様に若手教職員が多く、学年単学級であることから、指導力の向上、継承は大きな課題となっています。全学年をチームにできる職員集団をつくることや小規模校間をつなぐ遠隔合同授業の挑戦、リモート教科部会など、参考になる事例を提案下さりありがとうございました。(可茂地区 小学校)

小規模校が多いという地域の実態を受けて、教頭先生方が、研究主任や指導部長、学年主任等の役割の一部を担うことで、組織を活性化させたり教職員の資質向上を図っていらっしゃる事が分かりました。日々多忙な中でも、若手育成に尽力されている点が素晴らしいと感じました。(岐阜地区 中学校)

小規模校が多いという実態ならではの課題の中、工夫しながら若手教員の資質向上を図る取り組みがされているところが、勉強になりました。(西濃地区 小学校)

小規模校が多い、という実態から、若手教員の資質向上や、メンタル面でのサポートなど、具体的に、温かくご指導してみえることが大変よく分かりました。市内の学校で支えあうことが、働き方改革にもつながること、また、若手教員を育てていくことにもつながる、ということは新たな気づきとなりました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

小規模校・単学級が増える現状を踏まえ、ict 機器を有効活用して職員の専門性を高めようとする取り組みがとても素晴らしく参考になりました。なかなか、参集型の会議や研修は難しい状況がありますので、恵那市が取り組んで見えることを一般化していければいいなあと感じます。ありがとうございました。(美濃地区 小学校)

小規模校、若手教員の増加に対応するための教科部会の充実がとても参考になりました。教頭だけでなく、組織的に進めていくことが継続性につながることを改めて学ぶことができました。(西濃地区 小学校)

小規模の学校間での交流について大変勉強になりました。(東濃地区 小学校)

小規模の学校も多いという実態の地域の特性から、ICT をうまく活用して主体的な会議や研修が行われていると感じた。若手の主体性を育み、目的を明確にした様々な取組は是非取り入れたいと思った。(岐阜地区 小学校)

小さい学校の教職員を結び付け、教科部会を成立させたり、学級経営や生徒指導等について互いに研修できる場を設けたり…としてみえることに感服します。教職員の資質向上のために、日々ご尽力されていることに頭が下がります。とても勉強になりました。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

若手職員をどのように育てていくとよいのかということを学ばせてもらいました。先輩の先生から教科の専門性や学級経営を学ぶ機会が少なくなっているのが、現状です。発表でもありましたが、それを教頭が調整をして学校間を越えてリモートで教科部会ができるのはよい方法だと思いました。何回か行っただけで、気心がわかり、若手同士や同じ教科の先生同士で連絡し合っただけで、聞き合えるのとよいとは思いました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

若手職員の育成という視点で参考になる実践であった。特にリモート教科部会はすぐに取り入れてみたいと思う。またメンター制度を校内だけにとどまらず、ICTの活用で市内、管内等に広げていきたいと思った。(美濃地区 中学校)

若手教職員を育成することは、どの学校でも課題となっている。資質・向上を図るために、メンター制を意図的に仕組むことで、日常の業務の中で学ぶ体制ができていると感じた。(西濃地区 小学校)

若手教職員の指導力向上は、どの地区・学校においても喫緊の課題といえます。恵那市小中学校教頭会の取り組みでは、教科指導、学級経営、生徒指導、特別支援、ICT活用指導など、各校が実践している取り組み(教頭としては具体的に働きかけできていること)を、月1回の教頭会で交流し、共有できていました。教頭会が単なる示達や伝達だけでなく、教頭自ら主体的に情報を寄せ合うことで、心強い組織となっているのだと思いました。(可茂地区 中学校)

若手教員育成については自分の中でも大きな課題であるため、この提案から学ぶ点が非常に多くありました。特に教科の指導力向上のための教科部会の充実と、具体的な場を設定した学級経営研修が印象に残りました。他のリーダーも巻き込んだ研修を行うことで、若手研修としてのみでなく、ミドルリーダーの育成にもつながる斗感じました。(岐阜地区 小学校)

若手教員を主体的に学校経営に参画させる取り組みはとても参考となりました。今後を担う若手職員に教師としてのやりがいを感じさせる教頭となっていけるように精進していきたいと思いました。(東濃地区 中学校)

若手教員を市全体で育てていこうとする姿勢が感じられ、とても温かいと思いました。(西濃地区 小学校)

若手教員を育成するために、「教科部会」や「遠隔授業」を効果的に位置付けたり、「外部講師」による校内研修を位置づけるなどの工夫が大変参考になりました。また、若手教員が積極的に授業公開をすることが多くなったという成果が素晴らしいと思います。(美濃地区 小学校)

若手教員を育成しなければという意識が強すぎるため、若手教員がもつ感性やよさ等を見つけることができず、それが組織の硬直化になるのだと気づきました。若手教員が受け手ばかりでなく、自信を付け、自ら発信できるような組織整備の必要性を感じました。ありがとうございました。(飛騨地区 中学校)

若手教員をベテランが指導するだけでなく、若手教員の得意とするICTを他教諭に教えてくという形をとられているところが大変すばらしいと思いました。また、ICTを活用した他校との交流の取組を自分たちの学校でも増やしていきたいと感じました。(美濃地区 小学校)

若手教員へのサポートを、様々なシステムで行ってみることを学びました。学校規模や教科によって、関わる人数がどうしても少なくなるところが出るのは、瑞浪市も同様です。その中で、ICTなどを活用して行ったり、組織として対応したりすることが大切だとわかりました。(東濃地区 中学校)

若手教員の多い市の特色、小規模校の先生方が抱える問題を解決するために、教頭会一丸となって教師の指導力を伸ばそうとする姿勢に感心しました。特に印象に残ったのは、ICTを利用したリモートによる授業参観、教科部会の開催です。本校も決して大きな学校ではないので、一人で悩んでいる教職員もいると思います。その悩みの一つには教科指導等もあるでしょう。近くの学校と連携して恵那市さんのように取り組むことも可能かと思しますので、チャレンジしてみたいと思いました。(東濃地区 小学校)

若手教員の増加とそれに伴う学校課題は全県的な問題であり、参考になった。(西濃地区 小学校)

若手教員の資質向上は、どの学校にもいえる喫緊の課題です。本校は1学年を除く他は単学級です。他校と遠隔でつなぎながら若手教師と一緒に学ぶことができるという取り組みは、大変有効で、是非どこかで取り入れたいと思いました。ご発表、ありがとうございました。(美濃地区 小学校)

若手教員の資質向上のために、各項の連携を強め、実践しているところが参考になった。(東濃地区 小学校)

若手教員の資質向上に向けて、リモートで部会を行うことは、学ぶ機会を保障する機会を増やすための、時代に合った取り組みだと感じました。教頭として、そういった研修をコーディネートしていく必要性を感じます。(飛騨地区 中学校)

若手教員の指導は、私も課題を感じています。参考になりました。(飛騨地区 小学校)

若手教員の教科指導力向上に向けた、外部講師の活用や学校間での学び合いがなされていることなど学ばせていただきました。また、生徒指導力向上に向けて指導の根拠となる見方考え方を養う学び合いを大切にされていることが素晴らしいと思いました。(西濃地区 小学校)

若手教員の割合は、今後も増加していくものと考えられます。本市も小規模校があり、若手教員の研修の場がなかなか持てないことが課題です。ICTを活用し、オンラインでの研修や合同授業などができると学びました。(美濃地区 小学校)

若手教員の育成はどの学校でも喫緊の課題ですが、一人教科の教員の指導力向上が本校でも課題となっています。学級経営や生徒指導なら自校でできますが、教科となると他校との連携が必要になると思います。オンラインを使って教頭がつなぎ役となり、交流できる体制作りを早急に構築しなければと感じました。ムービーライブラリーを活用し、学び合えることは他の都市でもあると役に立つ実践だと参考になりました。(西濃地区 中学校)

若手教員の育成は、急務である。しかし、難しさを感じることも多い。さまざまな取組を通して、若手の職員を育成しようとしていることがわかり、大変参考になった。(美濃地区 小学校)

若手教員の育成については同じように課題であり大切な取り組みだと感じた。市内中学校が連携して支援ルームのように繋いだり市内のコンテンツを共有したりと教職員の育成においてもICTを活用した取り組みであり勉強になった。(美濃地区 中学校)

若手教員が多いことは、一人一人のよさを生かして学校づくりに参画してもらいよいチャンスと捉えられる視点は、大変勉強になりました。そして、自校の枠にとらわれず恵那市全体を学校群ととらえて、教頭を軸としてICTを活用しオンラインでつなぎ共に学び合い・鍛え合う方法は、苦しい学校事情を打破する素敵な実践として勉強させていただきました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

若手育成の場がなかなか取れないでいる状況です。内発的な研修ができるような仕掛けを考えていきたいと思っています。(岐阜地区 小学校)

若手育成についての取り組み、なかなか取り組めていないので、一つでも参考にさせていただきたいと思いました。(飛騨地区 小学校)

若手を主体的に生かすために何が得意なのかを明確にし、その専門性をうまく機能させていくことが大切なのだとわかりました。大変勉強になりました。(東濃地区 小学校)

若手や組織を活性化させるためのいろいろな取り組みが参考になりました。ただ、会議や研修ほど大袈裟ではないかもしれませんが、ある程度の負担が増えてしまうことを考えると、先生方の自主性かもしれませんが、難しいとも思いました。しかし、ICTを活用した事例はかなり有効だと感じました。リモートを活用することで、時間をかけずに交流できるのは負担軽減にもつながるし、他校の先生との繋がりもできてよいと思いました。(岐阜地区 小学校)

若手の力を育成すること、活かすことの大切さを感じています。若手が、どうしたいのかということがなかなか考えられないことがあるので、目標をもたせ、させてみて、見届けることを本校でも大切にしていきたいと考えます。(岐阜地区 中学校)

若手の良さを活かしたり、小規模校であることの課題をICTを活用することで克服したりされていることが良い刺激となりました。(西濃地区 小学校)

若手の割合の高さという共通の課題だけでなく、地域の特性からくる課題に対しても、具体的に手立てをうってみえることが伝わってきました。ICTを生かしてこどもの学校間交流をされていることに刺激を受けました。工夫次第で色々可能性は広がることを感じました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

若手の育成には、単にOJTを機能させたり環境を整えたりすることだけではなく、若手の強みを生かしていくことの重要性が分かりました。(岐阜地区 小学校)

若手とベテランがチームを組んで、指導力のアップができる体制づくりが素晴らしいと思いました。生徒同士、教師など他校とオンラインを繋いで交流したり学んだりするところがいいなあと思いました。(美濃地区 小学校)

若手が多い、単学級等の地域の状況を踏まえて、持続可能な研修の実践であったと思います。ありがとうございました。若手の交流会をやってみようと思いました。(岐阜地区 中学校)

若手が増える中で資質向上は喫緊の課題であり、大変参考になりました。(可茂地区 中学校)

若手から学ぶ姿勢が大切。具体的に、どうしたい？と声をかける。(飛騨地区 中学校)

若い先生が多いのは、学校として大変な部分と助けられる部分と両方あると思います。いろいろな研修を通して指導力や資質を向上させたり、教科部会や若手の力を生かすICT活用などでやる気を喚起したりする中で、若手が生き生きと仕事をする活力ある学校になっていくのだと感じました。(東濃地区 小学校)

若い職員が増えていく中で、教科指導力の向上を図ることはとても大切だと改めて感じました。美濃市でも学校規模が異なるので、校内だけでなく、各校オンラインでつなぎ遠隔の研修等も考えていけるとよいと感じました。学級経営の力を伸ばす取り組みとして、学級開きの研修は、年度始めで大変忙しい時期ではありますが、先生達が安心して、自信をもって学級開きを行うことは、大変重要だと改めて感じました。(美濃地区 小学校)

若い教員が特に多い恵那市です。3年未満の経験年数の浅い教職員も戦力として活躍してもらわなければならないわけですが、逆にこういった活動で支えることにより、勢いや変革が生まれやすい環境であることもわかりました。恵那市の若手は、なかなか経験できないことを、若くして教頭先生方の支えを受けながらでも経験できる。幸せかもしれません。(東濃地区 中学校)

実践提案のまとめ方や発表の仕方が大変興味されていて、非常によく理解することができました。特に「活力のある学校運営に活かしたい。」という願いが大変よくわかり、そのためにも若手の「主体性を育む」ことに焦点を当てた素晴らしい実践だと感じました。

特に研究内容2の学級経営力・生徒指導力の向上に関わる取組は、本校でも取り入れていきたいと思いました。

大変参考になる素晴らしい提案を、本当にありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

質問と同じ(東濃地区 小学校)

児童生徒数がどんどん減って行く中、小中規模校が増え、校内での教科部一人でお困りの先生も多くなっていく。その点で、恵那市の取組は、(特に)経験年数の浅い先生にとっては、心強いはずである。これを支えるのが、まさに「教頭」の仕事であり、市内の各校との繋がりを強く太くしていきたい。また、遠隔の合同授業に大きな興味を抱きました。子どもたちが、新たな発想や深い学びをする上で、かなり重要である。

「ICT」は、「使えばよい」というものではない。「ICT活用」には、教師の膨大な労力が求められるため、「より効果的で、費用対効果が確実に得られる取組」を管理職が見極めて先生方に示す必要がある。(東濃地区 中学校)

児童の自己肯定感を高める方途を具体的に示していただき大変参考になりました(岐阜地区 小学校)

私自身の資質向上ができなければ教職員全体の資質は向上していかないと考えます。私は、自分が一人が研修するのではなく、職場全体と一緒に研修や研究ができる時間と場所づくりに取り組んでいます。自分が取り組んでいたことが間違っていないことを再認識することができ安心できました。(飛騨地区 小学校)

私も初任者の時、恵那郡で勤務していたので、こちらの地域の特徴がとても理解できます。教科の専門性、学級経営は、全く身に付きませんでした。ICTが進み、若手育成に力を入れていらっしゃることに感心しました。私は、この時の悔しさをバネに現在の自分があると思っています。私のような悔しい、情けない思いを若手がされないよう、現在の自分の立場から、若手の育成に力を入れていきたいと思いました。(岐阜地区 小学校)

思い切った日課の改革や市の各組織との連携から、関わられた先生方のご苦労が伝わってきました。地域性もあるのですが、職員も生徒も保護者も、前向きにとらえて進んでいるところが素晴らしいです。今年度課題となっていることについて、どのような手立てを打っていかれるのが注目してみたいです。(飛騨地区 小学校)

市内でのリモート教科部会、遠隔授業の推進など、津市でも小規模の学校が増えたり、学校数が減ったりして、困っていることの改善につながる方法だと思いました。その学校に同じ教科の先生がいなくても相談できたり、アドバイスがもらえたら、特に若手は助かると思いました。(西濃地区 中学校)

市内であっても、学校規模や地域の実態に差がありそれぞれの学校での実践を知ることも教頭として大事であると思いました。遠隔で複数の学校での授業は私自身とても興味深いものがあります。(東濃地区 小学校)

市全体での連携の大切さ。(西濃地区 小学校)

子どもの減少により、校内の教職員も減少する中、いかに資質向上を目指していくか、その重要性といくつかの方途を学ぶことができました。

新しい試みにも、自分が中心となりチャレンジしていき、その動きを定着させていきたいと感じました。(美濃地区 小学校)

今年度、本校では職員が大きく入れ替わり、20代、30代の担任が非常に多いため、若手教員を育てるための教頭の働きかけを改めて見直す機会となった。教頭自ら指導に加え、有効的な学びにつながるように人や機会をコーディネートすること、さらにできることはないか、改めて考えたい。(岐阜地区 小学校)

今後ますます増える経験年数の浅い教員に対して、マンパワーに頼ることなく組織で体制を整えた上で学級経営や教科指導を行っていく必要性を感じた。(東濃地区 小学校)

今後、どの学校でも学校が小規模化し、単学級校が増えてきます。教頭がうまくコーディネートしていく必要があると思いました。(東濃地区 中学校)

高度な専門職として教員は、多様性に対応できる力が求められている中で、更に複雑化する生徒の状況に対応していかなければならない日常です。そこに、若手が順応できるよう、研修を位置付けるだけでなく、日常的に関わっていく必要があると感じています。分科会におけるメンター制も成長を見守る点で重要だと思いました。(岐阜地区 中学校)

校内だけでなくとどまらず、他校とも連携して若手教員の育成に取り組んで見えることが素晴らしいと感じた。(岐阜地区 小学校)

個々の職員の指導力を高めることが課題となっている。大変参考となった。(可茂地区 小学校)

現任校も若手の教員が多い学校です。ある程度枠組みが決まっていることは真面目に取り組む自主性は育ってきています。主体性となるとなかなか難しいです。主体的な姿勢でなければ資質向上は望めません。各担任

が育てたい児童の姿を明確にもち、支援の仕方を考えるように、私も教頭として職員を育てるということをつも念頭におき、仕組みで取り組ませ、見届けて褒め認めるサイクルを大事にしていこうと改めて思いました。本日は、ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

県内どの学校も同様な課題をもっていることを痛感しました。本実践では、その課題を課題とせず、前向きにとらえて実践されてみえることが、とても刺激になりました。(西濃地区 小学校)

研修の大切さを考えました(可茂地区 中学校)

恵那市小中学校教頭会様

若手教員を育てることは、非常に重要な課題です。県が「岐阜県型・教職魅力化に向けた取組方針」を出しており、こうした中で教職に就いた職員が、魅力を感じながら自信と実力を高めていけるよう管理職は努めなければなりません。この課題に真摯に取り組む、成果をあげていることはすばらしいと思います。示された実践例を参考にしつつ、努めていきたいと思えます。(岐阜地区 小学校)

恵那市を本拠地とする教員が少なく、そのようなこともあってか、毎年新任者が多く恵那市に配属されると聞きますが、恵那市が若手の教員をととても大切にしていることがわかるご提案でした。教員希望者が少なくなる中、教員となった若手を含め、経験の浅い先生方を大切に、力をつけていってもらうために育てていくことは恵那市に限らず、急務の課題だと感じています。コロナ禍においてもリモートをうまく活用し、若手教員どうしの交流ができていくことは若手にとって大変心強いでしょうし、学級開きや特別支援教育の研修なども進めながら、チームで取り組むことを大切にしている点、その働きかけを教頭がどのように行っていけばよいのかが大変参考になりました。(東濃地区 小学校)

恵那市は中津川市の隣りでもあり、学校規模が同じ程度の学校が多く、参考になりました。小規模校の若手教員の育成のために、ICTを活用したりリモート教科部会などの取組は、とてもいいと思えました。教頭として、こうした研修や他校とつなぐことを積極的に進めていく必要があると思えました。(東濃地区 小学校)

恵那市は若手教員が多いという実態から必然的に生まれた課題だと感じました。本校は、極小規模校で教員数が少なく、30代前半の教員に学び合う環境を十分に整えることができていないのが現状です。しかし、ご実践発表から、外部講師による校内研修を位置付けたり、ICTを活用し他校の教員の授業を参観できるようにしたりする方法を知ることができました。その取組をつなぐ教頭の役割の大きさも再認識しました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

恵那市はICTの取組がとても充実していると感じました。導入された端末、体制を最大限いかすために児童生徒のみならず、教職員も含めた取組を進めているのがわかりました。市のICT活用コンテンツを集めたムービーライブラリーは素晴らしい取組だと思います。当たり前にICT機器が導入されている現代において、得意な人ばかりではないと思うので、教員の指導力の向上においてはこの方面の取組の充実は重要な課題だと思います。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)

恵那市の学校の小規模化はますます深刻になっていく中、教員数の減少からくる校内での一人教科担任の状況は一層進んでいくことは避けられない。にもかかわらず、新任者は配置され、校内で教科部会を開くことができない。同じ教科の先輩教員の授業を参観しつつ学んでいける環境がない分それぞれに変わる何らかの手立てが必要になる。そのための学校をまたいでのリモート教科部会は、経験の浅い教員にとっては大きな学びの場となると考えられる。教頭として、若手教員に積極的に参加することを促したり、参加しやすい雰囲気作りを行うことも大切である。この仕組みを継続的に進めていくためにも各教科のメンターとなる教員の資質や姿勢が大きいかかわってくると考えられるので、教頭として校内でもサポートしていくことが重要であると考えた。(東濃地区 中学校)

恵那市の課題に近隣の学校が連携し、ICTを効果的に活用して若手教員の育成をすることはそれぞれの学校の教頭が中心になることが重要だと感じています。(東濃地区 小学校)

恵那市のような小規模校が多いところでは、他校の教員が積極的に交流していくことが必要であることがわかる。恵南地区のリモートによるやりとりは時間や労力を使わず、触発を受ける上で今後、更に活用されるべき方法だと思う。(東濃地区 小学校)

恵那市と同様に、町内には教科部一人というのはあります。教頭が橋渡しをしている面もありますが、専門教科ではないと困難です。恵那市のようにICTを活用して、リモート教科部会は実践していきたいと常に思っています。

ます。また、経験の浅い職員が多いため、進んで外部講師を招いた研修を行っている点は、刺激になりました。(岐阜地区 中学校)

郡上市も来年度発表があり、大変参考になりました。ありがとうございました。(美濃地区 小学校)

郡上市も小規模校が増えており、一人教科部の若手教員が相談する相手がいないことなどが課題となっている。

ICTを活用した方法でそれらの問題を解決していく方法の一つを知ることができてありがたかった。郡上市でも取り入れられるように提案していきたい。(美濃地区 中学校)

勤務時間外の活動を当たり前としてきた。労務管理については当たり前と思い込んでいることを根底から考え直す必要がある。また、生徒から部活の時間を減少させたなら、それに代わる物の提案が必要である。思いついた政策ときめ細かなアフターフォローがセットであることを学んだ。(可茂地区 小学校)

教頭会の折に聴かせていただいた内容より、さらにわかりやすく、焦点化された内容となっていました。小南先生をはじめ研修部の先生方に感謝申し上げます。(東濃地区 小学校)

教頭の立場として、全体の組織力や個々の能力を高めることに尽力しなければならぬと感じました。(岐阜地区 中学校)

教頭が橋渡し役となる若手育成(リモート教科部会)(飛騨地区 中学校)

教頭ができる具体的な取組が参考になった。ICT活用も教頭自身ができるようにならなければと反省している。(美濃地区 小学校)

教職員の専門性について、「向上させたい」「向上させたほうがよい」と考える内容は多岐に渡ります。しかし、それだけの専門性は一回の研修で向上させられるようなものではないので、教頭として自校の優先順位を明確にして取り組んでいくことが大切ではないかと考えた。恵那市のように小規模の学校が多くなると、自校の職員同士で学び合うには限界があるので、いくつかの学校の資源を融通し合って、学び合える環境(特にICTの活用)づくりは、自分の市でも、今後、ますます重要になってくると感じた。(東濃地区 小学校)

教職員としての資質向上における研修の工夫(西濃地区 小学校)

教職員が生き生きとはたらくことができる職場づくりが、教職員のなり手を増やし、質の向上につながると感じます。素晴らしい職場になるよう私も努めたいと思います。(東濃地区 中学校)

教師の指導力向上が必須だと思っています。実態に合わせて様々な工夫をして研修を進めてみえるので、私もあきらめないで、研修の効果的な方法を探っていきたいです。(岐阜地区 小学校)

教科部会の成り立たない学校同士での指導力の向上についてICTを活用しながらできることを探りたい(東濃地区 中学校)

教科部員が一人しかいないことや単学級であることの弊害はどの学校でも起こっています。本校は教科担任が複数おり、他校の初任者が授業研究に来ております。しかし、移動に時間がかかるため、恵那市のように定期的にリモートで行っていることを参考にさせていただきます。ICT活用事例は書面では垂井町でもありますが、動画ではないので、ムービーライブラリーのような取組はICT活用を苦手とする職員にとって有効だと思いました。(西濃地区 中学校)

教科指導力の向上(西濃地区 小学校)

教科指導力については、校内研究等で行っていますが、学級経営や生徒指導力を向上させる意識や取組は、教頭としてあまり行えていないと気づくことができました。ただ、現段階でも、放課後の時間が少なく、授業準備や学級事務等がある先生方に、改めて研修の時間を作ることは難しい状況です。時間がかからず効果的な研修ができるよう、打ち合わせや教頭通信などで、情報を発信していきたいと思いました。また、自校だけではなく、他校の教頭先生と連携して、近隣の学校とつなげて教科指導力を高めていけたらと思いました。提案をありがとうございました。(可茂地区 小学校)

教科指導の充実、本校が必要とする資質。恵那市さんのオンラインでの授業なら、無理なく公開授業を参観でき、研究会もできるメリットがあった。手法を考え、効率よく教師の力を付ける方法を発表を参考に考案していきたい。(美濃地区 中学校)

教科指導と学級経営における若手育成(東濃地区 小学校)

教員不足と言われている中で今後の教育を担っていく若手教員の育成を中心に様々な取り組みの実践が行われているとことに関心させられました。(可茂地区 小学校)

教員不足が叫ばれる中、特に教員不足に陥っているのが恵那・中津川だと感じています。毎年多くの初任者が配置され、毎年多くの若手の先生が移動になる。そんな学校で少ないベテランを核として職員集団を育てていく様々な工夫を学ばさせていただきました。(東濃地区 中学校)

教員育成のために、ICTを活用して行っている様子がよく分かった。(飛騨地区 小学校)

教員も児童も少ない実態の中で、リモートで学び合ってみるところが素晴らしいと思いました。(西濃地区 小学校)

教員の大量退職、大量採用の時代と言われています。本市でもその影響を受け、若手教員の養成は急務となっています。本誌では現在、若手養成は学校任せとなっています。実際に調査をしたわけではありませんが、若手養成に学校間で格差がある可能性もあります。実践発表された恵那市さんでは、市全体をあげて若手育成に取り組んでみえました。それも、教科、複式学級の授業、学級経営、生徒指導、ICT等と多岐にわたっており、どのような力を身につけてもらうかを分析されて実践にあたられていました。たいへん参考になりました。本市でも取り組んでみたいご実践でした。ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

貴重な提案ありがとうございました。

北方町でも、若手教員の割合が増え、いかに若手育成を進めていくかが喫緊の課題です。本校でも学年2学級のメンバーを、若手とベテランをどのように組み合わせる組んでいくかが悩ましいところです。また、来年度より町内に2校の義務教育学校がスタートします。校内に専門教科が1人しかいない教員も出てくると思いますので、ご発表のように、リモートをうまく使って教科部会等を開き、若手育成にもつなげていきたいと思いました。どの取り組みも教頭が進めておられ、同じ職として、教頭の働き方改革も進めていかなければとも感じました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

規模の小さい学校でも、ICTを活用することで、授業や研修方法を工夫することができることがよく分かった。今後も効果的な取り組みを考え、実践していきたい。(可茂地区 小学校)

岐阜市も若い先生が多いです。校内研修をと働き方改革との間で葛藤していますが、小規模校は切実な問題。その取り組みは大いに参考になりました。(岐阜地区 中学校)

学校内では解決しきれない問題を、教頭会全体で共有して解決していこうとする取組は素敵だと思いました。(西濃地区 小学校)

学校規模や実態に合わせて、今ある組織を活用しながら若手育成に取り組んでみえるところが勉強になりました。(西濃地区 中学校)

学校規模の差をマイナス面だけでなく、プラスに考えて取り組まれたところが素晴らしいと感じました。また、「ムービーライブラリ」は、教育委員会の管理下で動画の共有ができるシステムになっており、それも大変素晴らしいと感じました。これは、今後の工夫で子どもたちの学力向上にも活用できると感じました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

学校規模によらず、経験年数の浅い職員集団になってきているのが現状。それは、メリットであるとも考える。多くを吸収しようとする職員集団、機動力のある職員集団など、学校運営に大きなメリットとなっている。そうした財産を最大限活用するために、意義や価値を理解し、その上で指導方法やスキルを身に付けていけるような資質向上を目指したいと考えた。(岐阜地区 小学校)

学校規模が小さくなればなるほど、教員数が少なくなり中学校での教科部会が成立しないのが現状です。本校も専門が1人または2人という教科が複数あり、教科部会が成立しない状況があります。他校とのオンラインによる教科部会はとても参考になりました。(岐阜地区 中学校)

学校の実情に合わせてICTの活用がされており、活用方法の幅広さに驚きました。「ムービーライブラリー」というコンテンツ紹介も、恵那市の先進的な取組を示しており、参考にしていきたいと思います。(美濃地区 中学校)

学校の規模や距離を障害とするのではなく、ICTを活かして、子供に力をつける、そのための職員のつながりを教頭として組織することの大切さがわかった。(東濃地区 小学校)

学級経営力や教科指導力向上を目指し他校との連携や研修会の充実など大変参考になりました。(西濃地区 小学校)

学級経営力、生徒指導力、特別支援教育への理解推進はどれも外せないと同様に感じている。(東濃地区 小学校)

学級経営、生徒指導の力を伸ばす取組・リモート教科部会(岐阜地区 中学校)

外部講師を招くことの効果が強く感じられた(岐阜地区 小学校)

外部講師による校内研修の準備には大変な労力が必要だと思いなかなか動き出せないのが現状です。しかし良いものを見ることは大事な事なので前向きに検討したいです。(東濃地区 小学校)

下呂市もまた小規模校が多く、教員の数が少ないために、専門性が高められない現状がありますので、参考にさせていただきたい取り組みだと感じました。(飛騨地区 小学校)

遠隔授業の推進が、とても興味深かったです。(岐阜地区 小学校)

遠隔授業が進んでいて、学校間の交流が推進されていてよいと感じました。(飛騨地区 中学校)

育成するには、環境設定が必要だと感じました。(東濃地区 小学校)

以下に教頭が様々なことを「つなぐ」かが若手職員の資質を向上させるためには重要であること学びました、(東濃地区 小学校)

リモート教科部会や遠隔授業など、積極的なICT活用がなされている。若手教員が活躍できる場として、本校でもさらにICTの活用を進めていきたい。(西濃地区 小学校)

リモート教科部会は、うまく特性を活かしている。(岐阜地区 小学校)

リモート強化部会の実施ということについて、同じ専門教科をもつメンバーが少ないときにできそうだと思う。やはり同じ専門教科であるほうが、学ぶ内容も多いのではないと思う。(岐阜地区 小学校)

リモートを活用した研修を行うことで、若手教員のICT活用が高まったことがわかった。(岐阜地区 中学校)

やりがいを感じながら専門性を高めるというワードがとても素敵だと思います。せっかく導入されたICTであれば、遠隔授業もよいなあと思いました。瑞穂市では特別支援学級が校種を超えて遠隔授業することで、このコロナ禍でも互いに交流することを継続しています。これが、日常的にいろいろな教科で行われると、子ども達にとっても刺激になるし、教員の指導力向上にもつながると思いました。(岐阜地区 小学校)

ムービーライブラリーは全県的広がりを期待する。(飛騨地区 小学校)

どの地域でも若手の占める割合が増えてきている。問題が起きてからフォローするのは、大変なので、教科指導力を向上させることや学級経営の力を伸ばすための研修を位置付けなくてはならないと感じたのと同時に働き方改革による時間の捻出の難しさを感じました。(西濃地区 小学校)

どの教職員も大事にする取組だと感じました。特に教科の一人部では、やはり不安は拭いきれません。ICTを活用した研修など、安心した空気が活性化に繋がると感じました。(岐阜地区 中学校)

どこの地域でも、若手教員の育成が喫緊の課題となっております。その面では、今回の提言は、実践可能ということできくと、とても参考になりました。(東濃地区 中学校)

テーマは違っていても、全県的な課題は、どの地域でも同じだと、自分の在勤地域の発表を振り返りながら思いました。(東濃地区 小学校)

さまざまな学校の取組がわかりました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

コロナ禍もあり、それぞれの指導力は、必要であるが、研修の機会が減っている。なるべく勤務時間内に行いたい働き方改革との両立もかんかえていきたい。(西濃地区 小学校)

オンラインを活用した教科部会は、1人教科の先生方にとってはよき学びの場となり、これまで1人で進めなければならなかった教材研究や、授業の準備へのアイデアを学ぶことができるようになり大変素晴らしいシステムであると感じました。

また、メンターを活用され、若手を育成するとともに、ICT関係について若手からベテランが学ぶという好循環も生み出されています。こういった良好な職場環境は、若手を育て、MLやベテランも同時に学ぶことができるよき学校となると思いました。ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

ICT担当が本校でも頑張っているが、教頭としてどのような指示を出せば良いのか迷っている。発表を通してやれそうなことが見えてきた。(東濃地区 小学校)

ICTを積極的に活用しながら、遠隔授業やリモート教科部会などを定期的実践されていることが素晴らしい。これからの時代、ICTの利活用はますます必要になってくると感じます。目標を明確にしつつ、実践を進めることで、具体的・有効的な指導が深まっていくと感じます。「まずはやってみる」そんな自分自身の実践意欲に結び付きました。ありがとうございました。(美濃地区 小学校)

ICTを十分活用して、遠隔での授業実践に今後の必要感を感じました。(岐阜地区 中学校)

ICTを使った連携づくりが印象に残った。若手を育成していくうえで、リモート教科部会など若いうちに話ができる場を作ることは、大切である。ムービーライブラリーなど、若手教員が取り入れやすい形を提案しているのが素晴らしい取り組みであると思った。(西濃地区 小学校)

ICTを使ったリモートによる教科部会や遠隔による合同授業など、今まででは考えられなかった事がどんどんできるようになったことが子どもの学びを進めていく上でとても大切だと思いました。(岐阜地区 小学校)

ICTを活用して他校と授業交流をしたり合同授業したりされていて、職員の教科指導力や子供の学びを深めることにつながっていると感じた。(西濃地区 小学校)

ICTを活用した資質向上の取り組みは、大変参考になりました。ICTを使って子ども達の学びを高めていくことを検討してきた昨今でしたが、同じように教師間で学び合うためにICTを活用できることを学ぶことができました。また、その機会を定期的にもつことができるように配慮されていることにも感心しました。貴重なご実践をありがとうございました。(飛騨地区 小学校)

ICTを活用した研修や学校間の交流などの実践が素晴らしいと感じました。特に若手育成については、自分自身も普段から頭を悩ませています。自校は大規模校ではありますが、中でもなかなか若手同士のコミュニケーションをとる場を設定できていません。実践にあったように、ICTを活用して同性代で困り間を共有する場を提供したり、校内でも組織的な動きを作ったりして、取り組んでいきたいと思いました。(東濃地区 中学校)

ICTを活用した遠隔授業の取組がとても参考になりました。(西濃地区 小学校)

ICTをフルに活用して、小規模校であり若手教員が多い学校が連携して児童生徒だけでなく教職員も育てていこうとしていることが素晴らしいと思いました。各校の調整役となる教頭先生方のご尽力、そして、複数の教科専門がない部会への指導へのご尽力に対して、本当に素晴らしいと感じました。こういった時間は、各校の努力で生み出すことができるのだと改めて実感しました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

ICTをうまく取り入れて、小規模校のデメリットをカバーしておられる。ムービーライブラリーがあることも素晴らしいことだと感じた。教員の力がついていくと思う。(岐阜地区 小学校)

ICTや校務支援システムを十分に活用できているかを考えなければならぬと思いました。導入当初に感じた課題を改善できるように情報を共有できるといいなと思いました。(美濃地区 中学校)

ICTの利用によっては、自校の教員だけでなく学校間との連携を深めることができ、教員はより多くの情報を得ることによって、教員として資質を向上することができる。恵那市の学校が一つのチームになっていると感じた。(東濃地区 小学校)

ICTの利点と地域の特性を活用し、授業や研修を効果的に行なっていて、素晴らしいと思いました。(東濃地区 小学校)

ICTの多様な活用方法が大変参考になりました。(可茂地区 小学校)

20代の若手職員が多いという現状を鑑みて、若手職員が主体的に教育活動に臨めるような取り組みがなされてきました。学級事務をチーム体制で取り組むことで、若い職員には多くの学びがあると同時に、子どもや保護者の前に自信をもって立てるのはないかと思います。また、ベテラン職員にとっても多大な刺激を受けるよい機会になるとも感じます。若い職員一人一人が現場の即戦力となれるように、指導・助言していきたいと思いました。(東濃地区 中学校)

1人教頭という恵那市の実状を生かしたICT活用がとても参考になり、学ぶことが多かった。(岐阜地区 中学校)

・小規模校での取組が参考になった。特にリモート教科部会は、若手にとって有効な会になると感じた。郡上市は範囲が広く、移動時間がかかるので、活用してみたい。
・生徒指導力や学級経営力は、教員にとって必要な力である。それをどのようにつけていくのか、計画的に実施できるような仕組みを作っていきたい。(美濃地区 小学校)

「若手教員が多いことを課題としてのみ捉えるのではなく、活力ある学校づくりに生かしていきたい」という前向きな姿勢がとても印象的でした。遠隔授業には私も前任校で携わったことがありますが、多様な姿に触れることができるというよさの反面、環境を充実させるための準備と不具合が生じたときの対応に大変困ったことがありました。機材が常時設置されているような「遠隔授業教室」が校内にあると、大変ありがたいなあと思っていました。

配布された冊子の提言資料にはなかったのですが、動画の中で紹介された「6最後に」が若手育成の視点で、自分も取り組んでいきたいことでした。特にOJTは「育成」という意味で大切にしたいことです。ティーチングではなくコーチングで、本人の意見や思いも拾いながらたくさんの引き出しを作ってあげられるようにしたいと思いました。

ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

「ムービーライブラリー」の共有は、ICT活用事例に限らず、指導法や情報の共有化につながりそうで、素晴らしい取組だと感じました。だい4分科会同様、若手教員の育成に向けての取組が具体的に示されていて、学ぶことがたくさんありました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)